

第一回

櫻寄席

家席

落語
柳亭こみち



色
かがみもち

前座
入船亭辰のこ



■日 時 平成28年8月14日(日)
午後七時開演(六時開場)

●主 催 櫻寄席実行委員会

■場 所 山梨縣護國神社・社務所ホール
甲府市岩窪町608

●協 力 山梨縣護國神社
アート印刷
山梨縣護國神社
青年会

■木戸銭 前売り1,800円 当日2,000円
(チケット) ※弁当・飲み物付き

■演 目 「甲府い」柳亭こみち
「太神楽」丸一仙三・仙花
入船亭辰のこ

お問い合わせ
櫻寄席実行委員会
(担当 ねぎ 祐宜 羽中田)

TEL 055-252-6371
携 帯 090-4206-4470

演目紹介

『甲府い』

古典落語の演目のひとつ。

江戸ばなし。「法華豆腐」「出世豆腐」「お礼参り」とも。

〈あらすじ〉

身延山に「三年は江戸で頑張り帰りません」と願をかけて江戸に出てきた善吉。浅草でスリにあい一文無しに、腹が減って思わず豆腐屋の前でオカラに手を出してしまう。

店の使用達に責められてところを主人に救われる。

三年後、働きの良いことを認められ娘婿となる。

江戸に出てきてから五年目、晴れて甲府へ願いほどきに・・・。

■江戸人情嘶

柳亭こみち 東京都東村山出身

七代目 柳亭燕路（りゅうていえんじ）に入門 前座名「こみち」

平成15年落語協会前座として楽屋入りし平成18年に二ッ目昇進。

平成25年 第一回浦和落語選手権 優勝

歌って踊れる嘶家、老若男女から友達になりたいと思われる嘶家でありたい
と思っている。

かがみもち 山梨県甲府市出身
東京都板橋区出身

丸一仙三・仙花 国立劇場太神楽研修修了、鏡味仙三郎に師事 結婚し
「かがみもち」を結成。

現在甲州市に居をかまえ「やまなし大使」とし、全国各地・海外で活躍中。

入船亭辰のこ 東京都小平出身

平成24年入船亭扇辰に入門し前座となる。

師匠の奥様は山梨県出身の作家・詩人の覚和歌子さん

〈木戸銭〉

前売り ¥1,800

当 日 ¥2,200

全席自由

※弁当・飲み物付き

〈お問い合わせ・お申し込み〉

櫻寄席実行委員会

TEL 055-252-6371

携 帯 090-4206-4470

担当 袴宣（ねぎ）羽中田

〈交通のご案内〉

◆ J R 甲府駅（北口）よりバス利用で約10分

山梨交通「武田神社」行 護国神社入口下車

※無料駐車場もございますが数に限りがあります。

公共交通機関のご利用をお勧めいたします。

